



写真 1

運輸通信省（DOTC）でのI/A協議



写真 2

運輸通信省（DOTC）でのI/A協議



写真 3

I/A、M/M調印
日本側：吉永団長
フィリピン国側：
エバンゲリスタ次官



写真 4

LRT1 号線モニュメント駅付近
歩道が狭く、歩行者で混雑している。



写真 5

LRT1 号線
モニュメント駅付近
LRT3 号線ターミナル予定地
(右方向が LRT1 号線モニュメント駅)



写真 6

LRT1 号線
モニュメント駅改札口
トークン（専用コイン）による自動改札である。



写真 7

LRT1 号線
D. ホセ駅乗車風景



写真 8

LRT1 号線
D. ホセ駅（前方）



写真 9

LRT1 号線
バクララン駅入線風景



写真10

MRT2 号線
クバオ駅予定地
(前方、橋脚上部に鉄筋の露出している所)
歩道が狭く混雑している。
車道は乗合タクシーが駐車しているため、通
行しにくい。

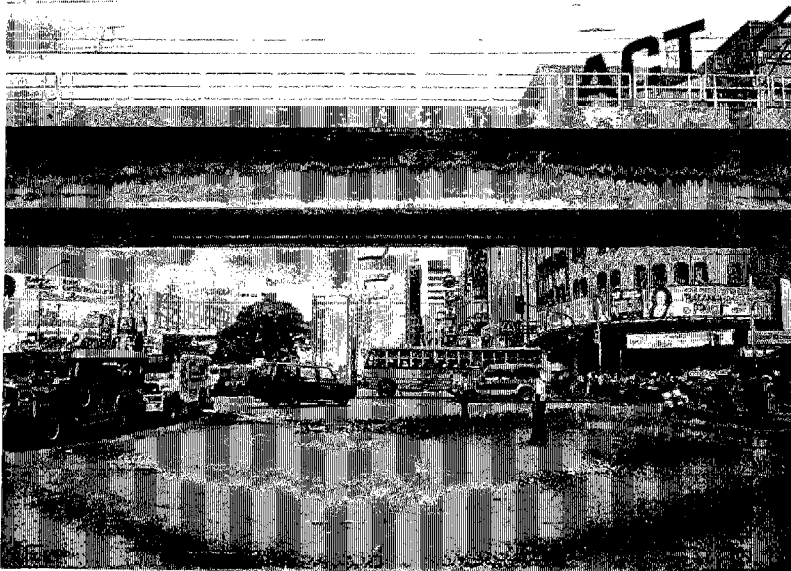


写真11

MRT2 号線、LRT3 号線交差部
手前が LRT3 号線
正面が MRT2 号線



写真12

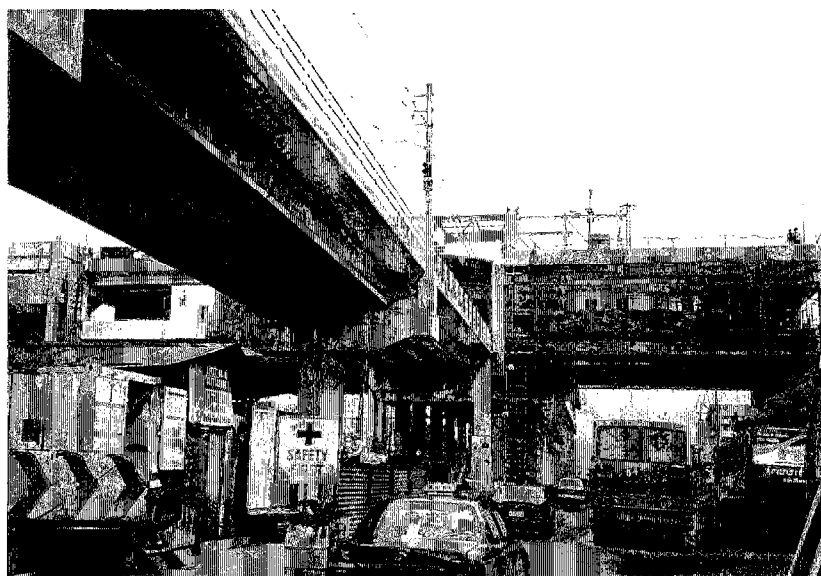
LRT3 号線クバオ駅
EDSA 通り上にあり、MRT2 号線との乗り換
え駅である。

写真13



LRT3 号線
搬入されたチェコ製の車両

写真14



LRT3 号線
建設中の駅 (EDSA 通り)

写真15



PNR 北線
カルーカン駅
駅北側は列車が運行されていない。

写真16



PNR 北線
カルーカン駅より約5キロメートル北側の鉄橋
損傷が著しい。
既に列車は運転されていない。

写真17



PNR 南線
サンタ・メサ駅
スケーターと呼ばれる人力車両が列車の合間にレールを占拠している。

写真18



PNR 南線
建築限界いっぱい建てられたスクオッター（不法占拠者）の住居